

## 2015 年

Motoya T, Ogawa N, Nitta T, Rafiq A M, Jahan E, Furuya M, Matsumoto A, Udagawa J, Otani H

Interkinetic nuclear migration in the mouse embryonic ureteric epithelium.

第 120 回日本解剖学会全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会合同大会、神戸市、2015 年 3 月 21 日～3 月 23 日

Ogawa N, Hirano S, Yokota S, Matsumoto A, Furuya M, Oka T, Yasui Y, Otani H

The management of secondary infection control in gross anatomy education in Shimane University Faculty of Medicine.

第 120 回日本解剖学会全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会合同大会、神戸市、2015 年 3 月 21 日～3 月 23 日

元矢倫子、元矢知志、岡田芳治、野村正人

はぶ茶 (*Senna occidentalis* L.) 種子の有効成分の検索と生理活性について.

日本農芸化学会 2015 年度大会、岡山市、2015 年 3 月 26 日～29 日

元矢知志、新田哲哉、Rafiq Ashiq Mahmood、Jahan Esrat、小川 典子、古屋 智英、松本 暁洋、宇田川 潤、大谷 浩

マウス尿管の発生過程における Interkinetic nuclear migration および Convergent extension の解析.

第 55 回日本先天異常学会学術集会、第 38 回日本小児遺伝学会学術集会合同開催、横浜市、2015 年 7 月 25 日～27 日

新田哲哉、小川典子、倉本純子、元矢知志、古屋智英、Rafiq Ashiq Mahmood、Jahan Esrat、松本 暁洋、大谷 浩

マウス腸管の発生過程における腸管上皮細胞数と Interkinetic nuclear migration (INM) の変化.

第 55 回日本先天異常学会学術集会、第 38 回日本小児遺伝学会学術集会合同開催、横浜市、2015 年 7 月 25 日～27 日

兼田 稜、橋本龍樹、荒内亮輔、古屋智英、佐藤文夫、宇田川 潤、大谷 浩

器官形成期マウス胚の気管・食道上皮における interkinetic nuclear migration の解析.

第 55 回日本先天異常学会学術集会、第 38 回日本小児遺伝学会学術集会合同開催、横浜市、2015 年 7 月 25 日～27 日

橋本龍樹、松本暁洋、大谷 浩

マイクロRNAのマウス胎仔大脳組織形成における役割

第 55 回日本先天異常学会学術集会、第 38 回日本小児遺伝学会学術集会合同開催、横浜市、2015 年 7 月 25 日～27 日

古屋智英

老年期の不安症に対する漢方薬治療。(シンポジウム)

第 7 回日本不安症学会、広島市、2015 年 2 月 15 日～16 日

## 2014 年

大谷 浩

ヒト・マウスの器官形成と組織形成における正常と異常. (招待講演)

第 50 回日本周産期・新生児医学会学術集会、浦安市、2014 年 7 月 13 日～15 日

倉本純子、平野 了、元矢知志、八田稔久、大谷 浩

マウス胎児の腸管上皮における細胞数の計測.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

新田哲哉、元矢知志、Rafiq AM、Jahan E、小川典子、古屋智英、松本暁洋、宇田川 潤、大谷 浩

尿管上皮発生における *Interkinetic nuclear migration* の解析.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

兼田 稜、橋本龍樹、金山加代、荒内亮輔、古屋智英、佐藤文夫、宇田川 潤、大谷 浩

器官形成期マウス胚の気管上皮における *Interkinetic nuclear migration* の解析.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

Zhang Qinghua, Zhang Li, Hiroki Otani

Mesiation of Wnt/PCP-JNK signal pathway in NTDs happening and preventing NTDs with taurine.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

有川智博、島田ひろき、島田英理子、大谷 浩、八田稔久、東海林博樹

オートファジーによるガレクチン 4 発現制御を軸とした胎盤形成機構の解明.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

直良博之、秋田春菜、岡本真奈、橋本龍樹、大谷 浩

PSK の抗催奇形効果への TNF- $\alpha$  関連分子の関与.

第 54 回日本先天異常学会学術集会、相模原市、2014 年 7 月 26 日～27 日

橋本龍樹、松本暁洋、井上隆之、大谷 浩

中枢神経系の組織形成に関与するマイクロ RNA の探索とその役割の解明.

第 119 回日本解剖学会全国学術集会、下野市、2014 年 3 月 27 日～29 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、Jahan E、Rafiq AM、宇田川 潤、八田稔久、大谷 浩

Arg-Gly-Asp(RGD)配列/インテグリン  $\alpha 5 \beta 1$  シグナルの軟骨内骨化への関与の *in vivo* 解析.

第 119 回日本解剖学会全国学術集会、下野市、2014 年 3 月 27 日～29 日

元矢知志、新田哲哉、Rafiq Ashiq Mahmood、Jahan Esrat、小川典子、古屋智英、松本暁洋、宇田川 潤、大谷 浩

マウス中胚葉由来組織である尿管の発生過程において Interkinetic nuclear migration (INM) が存在する。

日本解剖学会第 69 回中国・四国支部学術集会、広島市、2014 年 10 月 25 日～26 日

倉本純子、小川典子、古屋智英、松本暁洋、八田稔久、大谷 浩

マウス胎児中腸の腸管上皮細胞数は吻尾軸方向に沿って変化する。

日本解剖学会第 69 回中国・四国支部学術集会、広島市、2014 年 10 月 25 日～26 日

Furuya M, Miyaoka T, Wake R, Hashioka S, Miura S, Yasuda H, Nagahama M, Araki T, Horiguchi J  
Ramelteon as adjunctive therapy for delirium referred to a consultation-liaison psychiatry service: a retrospective analysis.

14th ICGP (The International College of Geriatric Psychoneuropharmacology 2014) & 19th JSNP, Tsukuba, October 1-4, 2014 (Junior Investigator Award)

元矢知志、野村正人、大谷 浩

*Senna occidentalis* 抽出物は線維芽細胞の増殖に影響を与える。

日本農芸化学会 2014 年度大会、東京、2014 年 3 月 27 日～30 日

倉本純子、井上隆之、元矢知志、野村正人、大谷 浩

合成ノビレチンの経口投与によるラットの真皮への影響。

日本農芸化学会 2014 年度大会、東京、2014 年 3 月 27 日～30 日

## 2013 年

元矢 知志、野村正人、大谷 浩

*Senna occidentalis* 抽出物による創傷回復効果—MMP の発現について—.

日本農芸化学会 2013 年度大会、仙台市、2013 年 3 月 24 日～28 日

橋本龍樹、松本暁洋、井上隆之、元矢知志、宇田川 潤、大谷 浩

生後マウス大脳における peroxisome proliferator-activated receptor を介したレプチンの  
髄鞘化に対する作用についての解析.

第 118 回日本解剖学会全国学術集会、高松市、2013 年 3 月 28 日～3 月 30 日

松本暁洋、Rafiq AM、八田稔久、橋本龍樹、大谷 浩

マウス胎仔の脳組織形成における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の作用の  
解析.

第 118 回日本解剖学会全国学術集会、高松市、2013 年 3 月 28 日～3 月 30 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、Jahan E、宇田川 潤、八田稔久、大谷 浩

子宮外発生法を用いた軟骨内骨化における軟骨細胞増殖、分化・肥大、細胞死調節因  
子の *in vivo* 解析.

第 118 回日本解剖学会全国学術集会、高松市、2013 年 3 月 28 日～3 月 30 日

井上隆之、橋本道男、片倉賢紀、田邊洋子、Abdullah Al Mamun、松崎健太郎、大谷 浩、  
紫藤 治

加齢に伴う筋肉量の減少とアラキドン酸長期摂取の関係.

第 48 回日本理学療法学術大会、名古屋市、2013 年 5 月 24 日～5 月 26 日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、福田博美、篠崎圭子、竹森久美子、大谷 浩、  
近藤厚生

女子学生の食習慣と葉酸摂取.

第 67 回日本栄養・食糧学会大会、名古屋市、2013 年 5 月 24 日～5 月 26 日

大谷 浩

上皮管腔組織の器官形成と組織形成. (特別講演)

第 120 回日本医学放射線学会中国四国地方会、出雲市、2013 年 6 月 15 日～16 日

Otani H, Udagawa J, Hatta T, Minami Y

Cell polarity-associated mechanisms in normal and abnormal organogenesis and  
histogenesis of epithelial tubular structures. (Symposium)

The First International Meeting for Epithelial Tubulology, Sapporo, June 22-23, 2013

大谷 浩

DOHaD と組織形成：低栄養に関わらない疾病素因とは？ (シンポジウム)

第 53 回日本先天異常学会学術集会、豊中市、2013 年 7 月 21 日～7 月 23 日

松本暁洋、井上隆之、元矢知志、佐藤文夫、橋本龍樹、八田稔久、大谷 浩  
顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子のマウス胎仔脳組織形成に及ぼす作用の  
解析.

第 53 回日本先天異常学会学術集会、豊中市、2013 年 7 月 21 日～7 月 23 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、Jahan E、Rafiq AM、宇田川潤、八田稔久、大谷 浩  
子宮外発生法を用いた軟骨内骨化メカニズムの *in vivo* 解析.

第 53 回日本先天異常学会学術集会、豊中市、2013 年 7 月 21 日～7 月 23 日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、小西啓悦、福田博美、篠崎圭子、竹森久美子、  
大谷 浩、近藤 厚生

葉酸の認知と先天異常についての意識調査

第 53 回日本先天異常学会学術集会、豊中市、2013 年 7 月 21 日～7 月 23 日

井上隆之、橋本道夫、片倉賢紀、田邊洋子、Abdullah Al Mamun, 大谷 浩、紫藤 治  
多価不飽和脂肪酸摂取によるラット骨格筋の筋線維型に及ぼす影響.

日本脂質栄養学会第 22 回大会、高知市、2013 年 9 月 6 日～8 日

元矢知志、Rafiq AM、Jahan E、松本 暁洋、宇田川 潤、大谷 浩

多次元尺度構成法 (Multidimensional scaling MDS) による尿管上皮発生における  
Interkinetic nuclear migration (INM) の解析.

日本解剖学会第 68 回中国・四国支部学術集会、米子市、2013 年 10 月 19 日～20 日

## 2012 年

橋本龍樹、松本暁洋、平野 了、Jahan E、大谷 浩

大腸の組織形成における Wnt11 の役割について.

上皮管腔組織形成領域会議第 2 回全体会議、川崎市、2012 年 2 月 18 日～19 日

松本暁洋、橋本龍樹、平野 了、Jahan E、大谷 浩

小腸の発生・分化における Wnt11 の役割の検討.

上皮管腔組織形成領域会議第 2 回全体会議、川崎市、2012 年 2 月 18 日～19 日

八田稔久、島村英理子、島田ひろき、有川智博、東海林博樹、大谷 浩

胎盤を介した母胎間情報伝達による胎児の発生調節機構.

上皮管腔組織形成領域会議第 2 回全体会議、川崎市、2012 年 2 月 18 日～19 日

Yoshikiyo K, Matsumoto A, Hashimoto H, Yamamoto T, Otani H, Fujita Y

Preparation of antibody conjugated silica-coated zinc oxide nanoparticles.

5th International Symposium on Nanomedicine (ISNM2012), Nagoya, March 15-17, 2012

Deguchi Y, Hashimoto H, Fujita Y, Otani H

Dependence of fluorescence properties on the thickness of shell layer for silica coated ZnO nanoparticles.

5th International Symposium on Nanomedicine (ISNM2012), Nagoya, March 15-17, 2012

大谷 浩、安井幸彦、津森登志子、橋本龍樹、松本暁洋、岡 達郎、堀江哲史、井上隆之

Ai の系統解剖学実習への導入とリハビリ療法士生涯教育の支援。(シンポジウム)

第 117 回日本解剖学会全国学術集会、甲府市、2012 年 3 月 26 日～28 日

Jahan E, Udagawa J, Matsumoto A, Rafiq AM, Sekine J, Otani H

Fetal jaw movement affects molecular cascade in the development of mandibular condylar cartilage.

第 117 回日本解剖学会全国学術集会、甲府市、2012 年 3 月 26 日～28 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、宇田川 潤、八田稔久、大谷 浩

子宮外発生法を用いた筋腱結合部形成過程における細胞 - 細胞外マトリクス相互作用の実験的解析.

第 117 回日本解剖学会全国学術集会、甲府市、2012 年 3 月 26 日～28 日

長島玲子、合田典子、井上千晶、大谷 浩

骨盤底訓練による出産後尿失禁症状の消失例と非消失例の比較検討—MR 画像による骨盤底の形態学的評価—

第 26 回日本助産学会学術集会、2012 年 5 月 1 日～2 日、札幌市

Inoue T, Hashimoto M, Tanabe Y, Hara T, Matsuzaki K, Katakura M, Otani H, Shido O  
Effect of chronic administration of arachidonic acid on skeletal muscle lipids in aged rats.  
10<sup>th</sup> Congress of the International Society for the Study of Fatty Acids and Lipids,  
Vancouver, Canada, May 26-30, 2012

井上 隆之、橋本 龍樹、松本 暁洋、堀江 哲史、安井 幸彦、大谷 浩  
ヒト関節拘縮における関節包の組織学的変化。  
第 47 回日本理学療法学会大会、2012 年 5 月 25 日～27 日、神戸市

Jahan E, Hashimoto R, Matsumoto A, Rafiq AM, Udagawa J, Sekine J, Otani H  
Prenatal jaw movement affects molecular cascade in the mandibular condylar cartilage  
development.  
Joint Meeting of the 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Developmental  
Biologists & the 64th Annual Meeting of the Japan Society for Cell Biology,  
Kobe, May 28-31, 2012

吉清恵介、橋本英樹、松本暁洋、山本達之、大谷 浩、藤田恭久  
シリカコート酸化亜鉛ナノ粒子への抗体修飾。  
(Modification of Silica-coated Zinc Oxide Nanoparticles by Antibody)  
ナノ学会第 10 回大会、豊中市、2012 年 6 月 14 日～16 日

橋本龍樹、松本暁洋、平野 了、大谷 浩  
乳児期マウス大脳の髄鞘化における neuropeptide Y (NPY) の Y2 受容体を介した作用。  
第 52 回日本先天異常学会学術集会、東京都、2012 年 7 月 6 日～8 日

平野 了、松本暁洋、橋本龍樹、佐藤文夫、Jahan E、Rafiq AM、佐藤 朗、菊池 章、  
大谷 浩  
Wnt11 ノックアウトマウスの小腸発生過程における組織形成異常。  
第 52 回日本先天異常学会学術集会、東京都、2012 年 7 月 6 日～8 日

Jahan E、Rafiq AM、松本暁洋、平野 了、佐藤 朗、菊池 章、大谷 浩  
Wnt11 ノックアウトマウスの胎仔期及び新生仔期の大腸の形態学的解析。  
第 52 回日本先天異常学会学術集会、東京都、2012 年 7 月 6 日～8 日

島村英理子、島田ひろき、有川智博、東海林博樹、大谷 浩、八田稔久  
母体 LIF シグナルの胎児大脳皮質 radial glia への影響。  
第 52 回日本先天異常学会学術集会、東京都、2012 年 7 月 6 日～8 日

橋本 龍樹、井上 隆之、大谷 浩  
解剖学実習体を用いた関節拘縮病態の解剖学的観察及び解析方法の検討。  
(パネルディスカッション)  
第 24 回日本運動器科学学会、2012 年 7 月 7 日、東京都

長島玲子、井上千晶、多々納憂子、大谷 浩

骨盤底筋訓練による出産後尿失禁症状の改善状況の比較検討 —MR 画像による骨盤底の形態学的評価—

第 14 回日本女性骨盤底医学会、2012 年 7 月 28 日～29 日、大阪市

井上隆之、橋本道男、片倉賢紀、田邊洋子、Mamun AA、松崎健太郎、大谷 浩、紫藤 治  
加齢ラット骨格筋に及ぼすアラキドン酸長期投与の影響.

日本脂質栄養学会第 21 回大会、2012 年 9 月 7 日～8 日、相模原市

島村英理子、島田ひろき、有川智博、東海林博樹、大谷 浩、八田稔久

Regulation of erythroblast differentiation by melanocortin receptors 1, 2 and 5-mediated signals.

(メラノコルチンレセプター1, 2, 5 伝達シグナルによる赤芽球の分化制御)

第 74 回日本血液学会学術集会、京都市、2012 年 10 月 19 日～21 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、Jahan E、宇田川 潤、八田稔久、大谷 浩

長管骨軟骨内骨化における RGD 配列を介したシグナルの関与の子宮外発生法を用いた解析.

日本解剖学会第 67 回中国・四国支部学術集会、宇部市、2012 年 10 月 20 日～21 日



## 2011 年

Deguchi Y, Furubayashi Y, Fujita Y, Otani H

The characterization of optical properties of ZnO films as biomaterial.

International Conference on Biomaterials Science 2011, Tsukuba, Japan, March 15-18, 2011

Nagashima R, Goda N, Inoue C, Otani H

Enhancing the QOL of mothers, the pillar of families: Intervention for postpartum stress urinary incontinence and its evaluation.

10<sup>th</sup> International Family Nursing Conference, Kyoto, Japan, June 25-27, 2011

Rafiq AM, Udagawa J, Lundh T, Jahan E, Matsumoto A, Sekine J, Otani H

Mathematical analysis of mandibular morphogenesis by micro-CT-based study during development.

The International College of Surgeons. The 57th Annual Congress of the Japan Section, Nagoya, June 25, 2011

Lundh T, Udagawa J, Hänel SE, Otani H

Cross- and triple-ratios of human body parts during development.

3rd Swedish Meeting on Mathematics in Biology, Umeå, Sweden, 14-16 December 2011

Makiko Yamada

Ror2 is required for midgut elongation during mouse development. (学術奨励賞受賞講演)

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

大谷 浩

知られざる先天異常 —臓器の組織形成における個体差と疾病素因の関り—.

(ランチョンセミナー・特別講演)

第 34 回日本小児遺伝学会学術集会、横浜市、2011 年 8 月 11 日

籠橋 有紀子, 亀山日向子, 古瀬美穂, 藤原有香, 石和田光, 梅山園子, 門脇つばさ,  
松本暁洋, 大谷 浩

NOD マウスの顕性糖尿病の発症抑制に関わる必須脂肪酸の比率および組成の解明

第 8 回日本小児栄養研究会、宇都宮市、2011 年 3 月 12 日

元矢 知志, 宇田川 潤, 桐原由美子, 野村正人, 大谷 浩

*Senna occidentalis* (望江南) 抽出物の創傷治癒促進効果について

日本農芸化学会 2011 年度大会、京都市、2011 年 3 月 25 日～28 日

Hashimoto R, Matsumoto A, Rafiq AM, Motoya T, Udagawa J, Otani H

Roles of neurotrophin 3 and brain-derived neurotrophic factor in myelination in the mouse cerebrum during the lactation period.

第 116 回日本解剖学会全国学術集会、横浜市、2011 年 3 月 28 日～30 日

松本暁洋、小野篤輝、Jahan E、張 慶華、八田稔久、大谷 浩  
マウス中枢神経系発生における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の作用の解析.

第 116 回日本解剖学会全国学術集会、横浜市、2011 年 3 月 28 日～30 日

井上隆之、橋本龍樹、松崎健太郎、松本暁洋、宇田川 潤、大谷 浩  
発達過程における筋腱結合部基底膜形成の形態学的解析.

第 116 回日本解剖学会全国学術集会、横浜市、2011 年 3 月 28 日～30 日

松崎健太郎、片倉賢紀、井上隆之、原 俊子、橋本道夫、紫藤 治  
暑熱暴露によるラット視床下部神経新生と暑熱馴化形成の加齢による低下.

第 116 回日本解剖学会全国学術集会、横浜市、2011 年 3 月 28 日～30 日

籠橋 有紀子、大谷 浩

妊娠期における食餌中の必須脂肪酸比率が子の膵島炎および 1 型糖尿病発症に与える影響について.

第 58 回日本実験動物学会総会、東京都、2011 年 5 月 25 日～27 日

井上 隆之、橋本 龍樹、岩本 凡子、堀江 哲史、大谷 浩

肉眼的・組織学的手法を用いたヒト肩関節拘縮病態の観察.

第 46 回日本理学療法学術大会、宮崎市、2011 年 5 月 27 日～29 日

宇田川 潤、松本暁洋、平野 了、出口友季、藤田恭久、平川正人、橋本龍樹、佐藤文夫、大谷 浩

マイクロCTによるマウス胎児四肢発生における FGF 発現部位の立体的観察.

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

橋本龍樹、松本暁洋、元矢知志、宇田川 潤、大谷 浩

乳児期マウス大脳の髄鞘化における neuropeptide Y の Y1 受容体を介した作用について.

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

松本暁洋、Jahan E、張 慶華、八田稔久、大谷 浩

マウス胎仔脳発生における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の作用の解析.

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

張 慶華、王 暉、佐藤文夫、Rafiq AM、宇田川 潤、大谷 浩

ヒト胎児頭蓋底の発生過程の骨染色標本による定性的および定量的解析.

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

井上隆之、橋本龍樹、松本暁洋、宇田川 潤、大谷 浩

体肢発達過程における筋腱結合部基底膜形成の形態学的解析.

第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

籠橋有紀子、亀山日向子、藤原有香、古瀬美穂、門脇つばさ、石和田光、松本暁洋、大谷 浩  
1 型糖尿病発症抑制に関わる必須脂肪酸の比率および組成の解析.  
第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

直良博之、高倉奈美、水野むつみ、橋本龍樹、大谷 浩  
菌糸体抽出物 PSK は TNF- $\alpha$  を介して奇形発生を抑制するのか  
第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

山田真紀子、Diana Wolfe, Guang Han, Samuel French, Michael Ross, Mina Desai  
Gestationally programmed non-alcoholic fatty liver in intrauterine growth  
restricted fetuses.  
第 51 回日本先天異常学会、東京、2011 年 7 月 22 日～24 日

島村英理子、島田ひろき、東海林博樹、大谷 浩、八田稔久  
ラット母獣 LIF 投与は母胎間 LIF-ACTH-LIF シグナルリレーを介して胎児脳における  
アストロサイト様細胞の分化を促進する.  
第 34 回日本神経科学大会、横浜市、2011 年 9 月 14 日～17 日

井上隆之、橋本龍樹、堀江哲史、安井幸彦、大谷 浩  
解剖学実習体を用いた関節拘縮における関節包の組織学的観察.  
コ・メディカル形態機能学会第 10 回学術集会、春日井市、2011 年 9 月 17 日～18 日

大谷 浩  
上皮管腔組織の形成とその異常の解析.  
第 9 回医用分光学研究会、松江市、2011 年 11 月 11 日～13 日

井上 隆之、橋本 龍樹、堀江 哲史、安井 幸彦、大谷 浩  
ヒト関節拘縮における関節包の組織学的変化—解剖学実習体を用いた検証—.  
日本解剖学会第 66 回中国・四国支部学術集会、徳島市、2011 年 11 月 12 日～13 日

## 2010 年

Hashimoto R, Matsumoto A, Inoue T, Udagawa J, Otani H

Relationship between neurotrophin 3 and neuropeptide Y in myelination of the mouse cerebrum during the lactation period.

14th International Congress of Endocrinology, Kyoto, Japan, March 26-30, 2010

Kawamoto M, Yamada M, Udagawa J, Hashimoto R, Matsumoto A, Otani H

Adrenocorticotrophic tumor cells transplanted into mouse embryos affected pancreatic histogenesis.

14th International Congress of Endocrinology, Kyoto, Japan, March 26-30, 2010

Udagawa J, Otani H

The role of leptin in the proliferation and differentiation of the neural lineage cells. (Symposium)

The 3<sup>rd</sup> Pan Pacific Symposium on Stem Cells Research 2010. Taichung, Taiwan  
April 16-19, 2010

Jahan E, Udagawa J, Matsumoto A, Rafiq AM, Sekine J, Otani H

Prenatal jaw movement restriction may affect molecular cascade including Indian hedgehog in the development of mandibular condylar cartilage.

The International College of Surgeons. The 56th Annual Congress of the Japan Section, Tokyo, June 12, 2010

Rafiq AM, Udagawa J, Lundh T, Jahan E, Sekine J, Otani H

Mathematical analysis of mandibular morphogenesis by 3-D study during prenatal development.

The International College of Surgeons. The 56th Annual Congress of the Japan Section, Tokyo, June 12, 2010

Kagohashi Y, Ikeda R, Otani H

Maternal dietary n-6/n-3 fatty acid ratio affects autoimmune diabetes development in the offspring in NOD mice.

The 5<sup>th</sup> International Niigata Symposium on Diet and Health, Niigata, October 30-31, 2010

Hashimoto R, Matsumoto A, Ono A, Nishimoto S, Udagawa J, Otani H

Effects of neurotrophin 3 and brain derived neurotrophic factor on myelination in the mouse cerebrum in the lactation period.

40<sup>th</sup> Annual Meeting Neuroscience 2010, San Diego, USA, November 13-17, 2010

Hirano S, Tokunaga M, Senthilkumar K, Hashimoto H, Otani H, Fujita Y

Photoluminescence properties of ZnO nanoparticles dispersions in saline.

4th International Symposium on Nanomedicine (ISNM2010), Okazaki, Japan, November 29- December 1, 2010

大谷 浩

臓器の組織形成と疾病の素因形成のかかわり. (特別講演)

第 21 回日本成長学会学術集会、東京、2010 年 11 月 13 日

- 宇田川 潤、Lundh T、Laszlo P、佐藤文夫、小野篤輝、大谷 浩  
非調和比による哺乳類の前足および後足の形態学差異の解析.  
第 115 回日本解剖学会全国学術集会、盛岡市、2010 年 3 月 28 日～30 日
- 山田真紀子、宇田川 潤、松本暁洋、橋本龍樹、西田 満、南 康博、大谷 浩  
Roles of Ror2 in midgut elongation during mouse development.  
第 115 回日本解剖学会全国学術集会、盛岡市、2010 年 3 月 28 日～30 日
- Jahan E, Udagawa J, Matsumoto A, Rafiq AM, Sekine J, Otani H  
Effects of fetal jaw movement restriction on molecular cascade including Indian hedgehog in the development of condylar cartilage of mandible in mice.  
第 115 回日本解剖学会全国学術集会、盛岡市、2010 年 3 月 28 日～30 日
- Rafiq AM, Udagawa J, Lundh T, Jahan E, Sekine J, Otani H  
Mathematical analysis of mandibular morphogenesis during its prenatal and postnatal development.  
第 115 回日本解剖学会全国学術集会、盛岡市、2010 年 3 月 28 日～30 日
- 井上 隆之、橋本 龍樹、松本 暁洋、宇田川 潤、大谷 浩  
筋腱結合部の形成過程における微細構造変化と細胞外マトリクスの形態学的解析.  
第 115 回日本解剖学会全国学術集会、盛岡市、2010 年 3 月 28 日～30 日
- 籠橋 有紀子、大谷 浩  
2 型糖尿病モデルマウスの病態進行に対する必須脂肪酸比率の影響について.  
第 57 回日本実験動物学会総会、京都市、2010 年 5 月 12 日～14 日
- 平野 了、徳永昌之、藤田恭久  
IPA、生理食塩水への酸化亜鉛ナノ粒子の分散.  
ナノ学会第 8 回大会、岡崎市、2010 年 5 月 13 日～15 日
- 長島 玲子、合田 典子、井上 千晶、大谷 浩  
出産後尿失禁と骨盤底ケアの実態  
第 24 回日本助産学会学術集会、つくば市、2010 年 3 月 20 日～21 日
- 井上 隆之、橋本 龍樹、岩本 凡子、堀江 哲史、大谷 浩  
ヒトご遺体を用いた関節拘縮病態の肉眼的変位・変化の観察、解析方法の検討.  
第 45 回日本理学療法学術大会、岐阜市、2010 年 5 月 27 日～29 日
- 宇田川 潤、橋本龍樹、松本暁洋、小野篤輝、佐藤文夫、大谷 浩  
マウス胎児大脳皮質由来の神経系細胞の維持におけるレプチンの役割.  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日
- 橋本龍樹、松本暁洋、小野篤輝、西本聖子、河本 舞、宇田川 潤、大谷 浩  
授乳期マウス大脳における髄鞘化に対する Neurotrophin 3 の役割.  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

Jahan E, Udagawa J, Matsumoto A, Rafiq AM, Sekine J, Otani H  
Fetal jaw movement affects Indian hedgehog signaling in mandibular condylar cartilage development.  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

Rafiq AM, Udagawa J, Lundh T, Jahan E, Matsumoto A, Sekine J, Otani H  
Mandibular morphogenesis by 3-D study & mathematical analysis of its fetal and neonatal development.  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

山田真紀子、和気功治、宇田川 潤、八田稔久、橋本龍樹、松本暁洋、椎名浩昭、井川幹夫、大谷 浩  
Epithelial cell rearrangement contributes the ureteral elongation in human and mouse embryos.  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

籠橋有紀子、大谷 浩  
1 型糖尿病の発症抑制に適正な必須脂肪酸比率 (n-6/n-3) とその摂取時期についての検討  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

島村英理子、島田ひろき、東 伸明、内芝舞実、大谷 浩、八田稔久  
胎盤を介した母胎間シグナルリレー LIF-ACTH-LIF の時期特異性。  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、小西啓悦、竹森久美子、木原隆英、村上哲男、大谷 浩  
微量栄養素と先天異常についての意識調査 (第 4 報)  
第 50 回日本先天異常学会、淡路市、2010 年 7 月 8 日～10 日

Simamura E, Shimada H, Higashi N, Uchishiba M, Otani H, Hatta T  
The regulation of fetal neurogenesis via maternal-fetal LIF-ACTH-LIF signaling relay pathway.  
Neuro2010 第 33 回日本神経科学大会、神戸市、2010 年 9 月 2 日～4 日

元矢知志、宇田川 潤、桐原由美子、大谷 浩  
*Senna occidentalis* (望江南) 抽出物の創傷治癒促進効果について  
日本解剖学会第 65 回中国・四国支部学術集会、呉市、2010 年 10 月 9 日～10 日

梅とも子、丸山理留敬、宇田川 潤、高橋節典、高山公子、木村かおり、藤原純子、大塚洋輔、竹下治男  
硬組織における遺伝子発現解析研究への非脱灰凍結切片標本作製技術 (川本法) の応用。  
日本法医学会 第 57 回学術近畿地方集会、枚方市、2010 年 10 月 13 日

## 2009 年

Otani H

Histogenesis of organs as a predisposing factor to postnatal diseases. (招待講演)  
18th Lake Shirakaba Conference, Vedbaek, Denmark, June 19-22, 2009

Tapani S, Udagawa J, Plusa B, Zernicka-Goetz M, Lundh T

Three dimensional mathematical modelling of pronuclei migration for the mouse.  
The 10th European Congress of Stereology and Image Analysis, Milan, Italy,  
June 22-26, 2009.

Jahan E, Udagawa J, Matsumoto A, Rafiq AM, Sekine J, Otani H

Fetal jaw movement restriction may affect molecular cascade including Indian hedgehog in the development of condylar cartilage of mandible.  
The 55th Annual Congress of the Japan Section of the International College of Surgeons, Tokyo, July 4, 2009

Rafiq AM, Udagawa J, Rundh T, Jahan E, Sekine J, Otani H

3-D study of morphogenesis of mandible; mathematical analysis of its prenatal and postnatal development.  
The 55th Annual Congress of the Japan Section of the International College of Surgeons, Tokyo, July 4, 2009

Otani H

Histogenesis of organs as a predisposing factor to postnatal diseases.  
International Seminar 「DOHaD: Developmental Origins of Health and Disease」, Izumo, Japan, July 6, 2009

Udagawa J

Cross-ratio analysis of morphological and evolutionary development of the limbs in humans and mammals.  
International Symposium [Analyses of Developmental Phenomena: Toward the elucidation of the developmental origins of diseases], Izumo, Japan, October 30, 2009

Hatta T, Simamura E, Otani H

Maternal LIF contributes to fetal development via a LIF-ACTH-LIF signaling relay pathway.  
International Symposium [Analyses of Developmental Phenomena: Toward the elucidation of the developmental origins of diseases], Izumo, Japan, October 30, 2009

Yamada M

Ror2 is required for midgut elongation during mouse development.  
International Symposium [Analyses of Developmental Phenomena: Toward the elucidation of the developmental origins of diseases], Izumo, Japan, October 30, 2009

籠橋有紀子、大谷 浩

顕性糖尿病発症後の病態を修飾する必須脂肪酸比率について.  
(最優秀ポスター賞受賞)

日本脂質栄養学会第 18 回大会、東京都、2009 年 9 月 4 日～5 日

井上隆之、橋本龍樹、大谷 浩

マウス体肢の発達過程における筋腱結合部形成過程の形態学的解析.  
(学会奨励賞受賞)

コ・メディカル形態機能学会第 8 回学術集会、京都市、2009 年 9 月 12 日

大谷 浩

知られざる先天異常：臓器の組織形成における個体差と疾病素因。(シンポジウム)  
第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

大谷 浩

形態形成にかかわる遺伝子カスケード研究の進歩。(シンポジウム)  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

梅原 毅、木村光宏、宇田川 潤、大谷 浩、川内 秀之

マウス嗅神経の発生における IL15 の役割 (サイトカイン療法への展望).  
(シンポジウム)

第 48 回日本鼻科学会学術講演会、松江市、2009 年 10 月 1 日～3 日

宇田川 潤、Lundh Torbjörn、Hänel Sven-Erik、佐藤文夫、Rafiq AM、下崎俊介、大谷 浩

ヒト体部位間の調和的発生の解析.

第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

橋本龍樹、河本 舞、小野篤輝、大谷 浩

レプチンの生後投与によるレプチン欠損マウス (Lep<sup>ob</sup>/Lep<sup>ob</sup>) 大脳の組織成熟に対する影響について.

第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

松本暁洋、八田稔久、小野篤輝、Jahan E、張 慶華、大谷 浩

マウスの脳組織形成における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の機能の解析.

第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

山田真紀子、宇田川 潤、松本暁洋、橋本龍樹、西田 満、南 康博、大谷 浩

マウスの腸管発生における Ror2 受容体チロシンキナーゼの発現パターンとその役割.

第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

井上 隆之、橋本 龍樹、大谷 浩

体肢発達過程における筋腱複合体の形成過程の形態学的解析.

第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日



島村英理子、島田ひろき、東 伸明、大谷 浩、八田稔久  
胎盤を介した母胎間シグナル伝達経路の証明。  
第 114 回日本解剖学会総会、岡山市、2009 年 3 月 28 日～30 日

籠橋有紀子、大谷 浩  
NOD マウスの顕性糖尿病発症後の病態を修飾する必須脂肪酸摂取比率について。  
第 56 回日本実験動物学会総会、さいたま市、2009 年 5 月 14 日～16 日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、小西啓悦、竹森久美子、木原隆英、村上哲男、大谷 浩  
栄養・保育・医療課程において葉酸の神経管閉鎖障害予防効果の認識向上を目的とする講義の重要性(第 2 報)。  
第 63 回日本栄養・食糧学会、長崎市、2009 年 5 月 20 日～5 月 22 日

山田真紀子、宇田川 潤、松本暁洋、橋本龍樹、西田 満、南 康博、大谷 浩  
マウス腸管の形態形成における Ror2 受容体チロシンキナーゼの発現パターンとその役割。  
第 42 回日本発生生物学会、新潟市、2009 年 5 月 28 日～5 月 31 日

松本暁洋、小野篤輝、Jahan E、張 慶華、八田稔久、大谷 浩  
マウス中枢神経系発生における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の機能の解析。  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

山田真紀子、宇田川 潤、松本暁洋、橋本龍樹、西田 満、南 康博、大谷 浩  
Ror2 receptor tyrosine kinase is differentially expressed along AP axis of mouse embryonic gut.  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

河本 舞、山田真紀子、宇田川 潤、橋本龍樹、松本暁洋、大谷 浩  
マウス胚への副腎皮質刺激ホルモン産生腫瘍細胞の移植による脾臓の組織形成への影響の解析。  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

井上隆之、橋本龍樹、佐藤文夫、大谷 浩  
発生・発達中の体肢の筋腱結合部における fibronectin の発現パターン。  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

島村英理子、島田ひろき、東 伸明、大谷 浩、八田稔久  
母胎間 LIF-ACTH-LIF シグナル伝達経路の解析  
第 49 回日本先天異常学会、鹿児島市、2009 年 6 月 25 日～6 月 27 日

長島 玲子、宇田川 潤、大谷 浩  
出産後の腹圧性尿失禁に対する骨盤底筋訓練の効果の形態学的評価。  
第 11 回日本女性骨盤底医学会学術集会、奈良市、2009 年 7 月 4 日～5 日

内藤貫太、宇田川 潤、大谷 浩

Procrustes Analysis と歪曲度ーヒト胎児の調和的発生ー.

2009 年度統計関連学会連合大会、京田辺市、2009 年 9 月 6 日～9 日

野津昭文、内藤貫太、宇田川 潤、大谷 浩

Radial Mapping によるヒト胎児発生過程の調和度解析.

2009 年度統計関連学会連合大会、京田辺市、2009 年 9 月 6 日～9 日

武智眞由美、佐藤文夫、桐原祐美子、黒崎 薫、大谷 浩、山田高也

技術教育教材としての実験小動物（マウス・ラット）プラスチックネーション標本作成方法の検討.

第 43 回日本実験動物技術者協会総会、新潟市、2009 年 10 月 9 日～10 日

野津昭文、内藤貫太、宇田川潤、大谷 浩

Radial Mapping によるヒト胎児発生過程の調和度解析.

2009 年度科学研究費シンポジウム 「統計科学の方法論と応用の新展開」、  
松江市、2009 年 10 月 21 日

Rafiq AM, Udagawa J, Lundh T, Jahan E, Sekine J, Otani H

Mathematical analysis of prenatal and postnatal development of the mandible: 3-D study of morphogenesis.

日本解剖学会第 64 回中国・四国支部学術集会、南国市、2009 年 10 月 24 日～25 日

梅とも子、宇田川潤、田邊洋子、松本健一、丸山理留敬、織田禎二

CT Scan による組織中微小切開撮影と CT scan が RT-PCR に及ぼす影響についての検討.

第 20 回生物学技術研究会、岡崎市、2009 年 2 月 19 日～20 日

梅とも子、宇田川潤、田邊洋子、松本健一、丸山理留敬、織田禎二

CT Scan による組織中微小石灰撮影と CT scan が RT-PCR に及ぼす影響についての検討.

平成 20 年度島根大学医学部技術セミナー、出雲市、2009 年 3 月 4 日

## 2008 年

Otani H

Different phases of human development: contributing factors and medical significances.  
International Symposium: Mathematical Analyses of Human Development, Matsue, Japan,  
January 18, 2008

Udagawa J

Application of the cross-ratio and the multivariate analysis in human development.  
International Symposium: Mathematical Analyses of Human Development, Matsue,  
Japan, January 18, 2008

Udagawa J, Hashimoto R, Ono A, Itoh H, Otani H

Leptin Affects the Development of Neural Lineage Cells during the Prenatal Period.  
55th Annual Meeting of the Society for Gynecologic Investigation, San Diego,  
USA, March 26-29, 2008

Udagawa J, Hashimoto R, Otani H

Leptin affects the development of the cerebral cortex during the prenatal period.  
(Special Symposium: Developmental Origins of Health and Disease)  
15th Congress of the FAOPS 2008, Nagoya, Japan, May 20-24, 2008

Inoue T, Hashimoto R, Kawakami K, Otani H

Transmission electron microscopic study of the morphogenesis of the muscle-tendon  
junction complexes during the development of the limbs.  
10th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, Chiba, Japan,  
August 29 - September 1, 2008

Udagawa J

Harmonized development of human body parts analyzed by cross-ratio and multidimensional  
scaling methods.  
International Symposium: Mathematical Analyses of Developmental Phenomena,  
Matsue, Japan, November 23, 2008

大谷 浩

臓器の組織形成と疾病の素因形成のかかわり.(招待講演)  
第19回胎生期エピジェネティック制御研究所会議、東京都、2008年12月12日

宇田川 潤、橋本龍樹、小野篤輝、大谷 浩

胎児期の神経発生におけるレプチン-NPY系の役割.(招待講演)  
第1回伊勢志摩 DOHaD カンファレンス、津市、2008年6月28日

大谷 浩

臓器の組織形成と疾病の素因形成のかかわり.(シンポジウム)  
第24回日本糖尿病・妊娠学会、高崎市、2008年11月28日～29日

宇田川 潤、橋本龍樹、二村正之、松本暁洋、小野篤輝、山田真紀子、河本 舞、大谷 浩  
胎児期の神経発達と内分泌環境の関連について. (シンポジウム)  
第5回日本小児栄養研究会、奈良市、2008年3月1日

宇田川 潤、内藤貫太、安田 晃、佐藤文夫、山田真紀子、大谷 浩  
ヒト胎児臓器形態発生の多次元解析.  
第113回日本解剖学会総会、由布市、2008年3月27日～29日

松本暁洋、八田稔久、小野篤輝、河本 舞、井上隆之、橋本龍樹、大谷 浩  
マウス胎児の脳と体液における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子発現分布の解析.  
第113回日本解剖学会総会、由布市、2008年3月27日～29日

直良博之、工藤春華、小松原 聡、福田健一、大峠 忍、佐藤公紀、大谷 浩  
マウス腎糸球体毛細血管における血流シミュレーションの試み.  
第113回日本解剖学会総会、由布市、2008年3月27日～29日

岩本凡子、井上隆之、大谷 浩  
極短時間の人体解剖実習見学に対する学生の意識と人体解剖実習見学への取り組みに対する課題.  
第43回日本理学療法学会大会、福岡市、2008年5月15日～17日

Yamada M, Hamasaki M, Udagawa J, Matsumoto A, Hashimoto R, Nishita M, Minami Y, Otani H.  
Expression patterns of Ror2 receptor tyrosine kinase in mouse gut development.  
第41回日本発生生物学会、徳島市、2008年5月28日～30日

宇田川 潤、内藤貫太、安田 晃、山田真紀子、佐藤文夫、大谷 浩  
多変量解析によるヒト胎児臓器の調和的発生様式の検討.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

橋本龍樹、河本 舞、小野篤輝、Jahan E、Rafiq AM、大谷 浩  
生後マウス脳における髄鞘化及び稀突起膠細胞の分化に対するレプチンの影響.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

松本暁洋、八田稔久、小野篤輝、河本 舞、張 慶華、大谷 浩  
マウス胎児の中樞神経系における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子およびレセプターの発現解析.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

佐藤文夫、松本暁洋、張 慶華、井上隆之、大谷 浩  
ヒト胚子の肉眼立体的永久標本の作製.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

直良博之、堂端香織、佐藤怜子、大谷 浩  
PSKの抗催奇形作用におけるTNF- $\alpha$ の関与.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、小西啓悦、竹森久美子、木原隆英、村上哲男、大谷 浩  
微量栄養素と先天異常についての意識調査（第2報）.  
第48回日本先天異常学会学術集会、東京、2008年6月28日～30日

井上 隆之、橋本 龍樹、大谷 浩  
体肢発達過程における筋腱複合体の形成過程の光学顕微鏡および透過型電子顕微鏡  
による解析.  
日本解剖学会第63回中国・四国支部学術集会、出雲市、2008年10月25日～26日

長島玲子、宇田川 潤、大谷 浩  
出産後尿失禁の慢性化予防を目的とする骨盤底筋訓練の効果の形態学的評価.  
日本解剖学会第63回中国・四国支部学術集会、出雲市、2008年10月25日～26日

川上浩平、下崎俊介、頓宮美樹、大谷 浩、山田高也  
4種類の木製エンリッチメント材に対するマウスの行動学的反応.  
第26回九州実験動物研究会総会、佐賀市、2008年11月15日

佐藤文夫、松本暁洋、大谷 浩  
ヒト胚子のステージングと胚子肉眼立体的永久標本の作製.  
第3回島根大学医学部技術セミナー、出雲市、2008年2月19日

川上浩平、下崎俊介、頓宮美樹、Sultana Razia、土倉 覚、野村正人、小林裕太、並河 徹、  
山田高也  
メタボリックシンドロームモデルラット(SHR/cp)に対する給餌制限の効果.  
第44回高血圧関連疾患モデル学会、出雲市、2008年11月21日～22日

Nakamura M, Shimosaki S, Kasuga M  
The ubiquitin-like protein MNSFbeta regulates phagocytosis.  
Biochemistry and Molecular Biology 2008、神戸市、2008年12月9日～12日

## 2007 年

Hashimoto R, Udagawa J, Kagohashi Y, Matsumoto A, Hatta T, Otani H

Analysis of myelination and differentiation of oligodendrocytes in the cerebrum of obese mice (ob/ob) in the postnatal period.

37th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, San Diego, USA, November 3-7, 2007

Udagawa J, Otani H

The role of leptin in fetal brain development. (招待講演)

5th International Congress on Developmental Origins of Health & Disease, Perth, Australia, November 6-10, 2007

大谷 浩

発生学の立場から脳を語る。(特別講演)

第 34 回日本脳科学会、出雲市、2007 年 6 月 8 日

宇田川 潤

マウス胎児の大脳皮質発生におけるレプチンの機能。(奨励賞受賞講演)

第 47 回日本先天異常学会、名古屋市、2007 年 7 月 7 日～9 日

大谷 浩、籠橋有紀子

必須脂肪酸摂取比率が 1 型糖尿病の病態に及ぼす影響。(シンポジウム)

日本脂質栄養学会第 16 回大会、出雲市、2007 年 8 月 31 日～9 月 1 日

宇田川 潤、橋本龍樹、八田稔久、大谷 浩

マウス大脳皮質発生におけるレプチンの機能.

第 80 回千里神経懇話会、豊中市、2007 年 2 月 1 日

籠橋有紀子、武部恵美、鎌田ルミ子、帯刀礼子、森山賢治、大谷 浩

NOD マウスの糖尿病発症に関わる必須脂肪酸摂取比率と摂取時期について.

第 21 回日本糖尿病動物研究会年次学術集会、盛岡市、2007 年 2 月 9 日～10 日

大谷 浩、八田稔久、宇田川 潤、二村正之、橋本龍樹、松本暁洋

神経・免疫・内分泌ネットワーク形成と調和的組織形成機構の発生工学的解析と数理解析.

第 112 回日本解剖学会発生学懇話会、大阪市、2007 年 3 月 26 日

橋本龍樹、宇田川 潤、籠橋有紀子、山田真紀子、河本 舞、松本暁洋、八田稔久、大谷 浩

マウスにおける髄鞘化に対するニューロペプチド Y の影響.

第 112 回日本解剖学会総会、大阪市、2007 年 3 月 27 日～29 日

直良博之、高橋摩弥、勢田真由美、大谷 浩

マウス糸球体毛細血管網分枝構造の発生過程.

第 112 回日本解剖学会総会、大阪市、2007 年 3 月 27 日～29 日

籠橋有紀子、武部恵美、阿比留教生、古林正和、森山賢治、大谷 浩  
出生前後の必須脂肪酸摂取比率が NOD マウスの病態に与える影響について。  
第 50 回日本糖尿病学会年次学術集会、仙台市 2007 年 5 月 24 日～26 日

沖 真弥、橋本龍樹、奥井佑子、Michael M Shen、目加田英輔、大谷 浩、西條幸男、  
濱田博司

マウス胚左右軸形成において、ノードから左側板中胚葉への Nodal シグナル伝達には  
硫酸化グリコサミノグリカンが必要である。  
第 40 回日本発生生物学会・第 50 回日本細胞生物学会合同大会、福岡市、2007 年 5 月  
28 日～30 日

宇田川 潤、Lundh Torbjörn、Hänel Sven-Erik、佐藤文夫、大谷 浩  
非調和比を用いたヒト胚子および胎児の外表形態の解析。  
第 47 回日本先天異常学会、名古屋市、2007 年 7 月 7 日～9 日

松本暁洋、八田稔久、小野篤輝、大谷 浩  
マウス胎児発生過程における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の組織分布の  
検討。  
第 47 回日本先天異常学会、名古屋市、2007 年 7 月 7 日～9 日

籠橋有紀子、坪倉直美、安部希望、帯刀礼子、森山賢治、大谷 浩  
胎児期・乳児期の必須脂肪酸摂取比率と 1 型糖尿病発症予防の可能性について。  
第 47 回日本先天異常学会、名古屋市、2007 年 7 月 7 日～9 日

松尾拓哉、籠橋有紀子、千賀靖子、小西啓悦、木原隆英、村上鉄男、大谷 浩  
微量栄養素と先天異常についての意識調査。  
第 47 回日本先天異常学会、名古屋市、2007 年 7 月 7 日～9 日

籠橋有紀子、武部恵美、石倉日南子、足立美穂、阿比留教生、古林正和、森山賢治、  
橋本道夫、紫藤 治、大谷 浩  
母体の必須脂肪酸摂取比率が仔の 1 型糖尿病発生に与える影響。  
日本脂質栄養学会第 16 回大会、出雲市、2007 年 8 月 31 日～9 月 1 日

内藤貫太、宇田川 潤、大谷 浩  
ヒト胎児発生過程の調和度解析  
2007 年度統計関連学会連合大会、神戸市、2007 年 9 月 6 日～9 日

二村正之、宇田川 潤、大谷 浩  
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)分泌性細胞 AtT20 のマウス胚への移植とその生殖巣へ  
の効果。  
日本動物学会第 78 回大会、弘前市、2007 年 9 月 20 日～9 月 22 日

梅原 毅、宇田川 潤、木村 光宏、合田 薫、清野 宏、大谷 浩、川内 秀之  
マウス嗅神経の発生における IL-15 の役割。  
第 46 回鼻科学総会・学術講演会、宇都宮市、2007 年 9 月 27 日～29 日

山田真紀子、濱崎真弓、宇田川 潤、松本暁洋、二村正之、橋本龍樹、南 康博、大谷 浩  
マウス胎生中・後期における **Ror2** の発現パターンの解析。  
日本解剖学会第 62 回中国・四国支部学術集会、倉敷市、2007 年 10 月 27 日～28 日



## 2006 年

Kagohashi Y, Tagawa A, Tatewaki R, Otani H

Japanese cuisine, with a low n-6/n-3 essential fatty acid ratio, prolongs the honeymoon period in type 1 diabetes of NOD mice.

20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress, Kyoto, Japan, June 18-23, 2006

籠橋有紀子

母体環境が1型糖尿病発症課程へ及ぼす影響：モデル動物を用いた解析。  
(学術奨励賞受賞発表)

第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

籠橋有紀子、杉原尚恵、武部恵美、阿比留教生、古林正和、帯刀礼子、大谷 浩  
必須脂肪酸摂取比率が1型糖尿病モデル動物の顕性糖尿病発症率に与える影響。  
(大森賞受賞)

第22回日本糖尿病・妊娠学会、東京、2006年11月24日～25日

大谷 浩

膵臓を含む調和的な組織形成と子宮内環境。(特別講演)

第22回日本糖尿病・妊娠学会、東京、2006年11月24日～25日

籠橋有紀子、直良博之、阿比留教生、古林正和、橋本道男、紫藤 治、大谷 浩  
NODマウスの糖尿病発症に離乳前の必須脂肪酸摂取比率が及ぼす影響。

第20回日本糖尿病動物研究会年次学術集会、東京、2006年2月9日～10日

八田稔久、松本暁洋、鈴木理樹、二村正之、小野篤輝、大谷 浩

マウス胎児における *Leukemia inhibitory factor* の定量的解析。

第111回日本解剖学会総会、相模原市、2006年3月29日～31日

橋本龍樹、宇田川 潤、河本 舞、松本暁洋、大谷 浩

ニューロペプチド Y のマウス新生児大脳における髄鞘化に対する影響とその機構。

第111回日本解剖学会総会、相模原市、2006年3月29日～31日

宇田川 潤、橋本龍樹、籠橋有紀子、二村正之、佐藤文夫、大谷 浩

マウス胎児大脳皮質における細胞移動に及ぼすレプチンの効果。

第111回日本解剖学会総会、相模原市、2006年3月29日～31日

松本暁洋、八田稔久、小野篤輝、大谷 浩

マウス胎仔における *Granulocyte macrophage-colony stimulating factor* の定量的解析。

第111回日本解剖学会総会、相模原市、2006年3月29日～31日

籠橋有紀子、直良博之、阿比留教生、古林正和、橋本道男、紫藤 治、大谷 浩  
胎児期・新生児期の必須脂肪酸摂取比率が1型糖尿病発症に及ぼす影響について。  
第111回日本解剖学会総会、相模原市、2006年3月29日～31日

和気功治、宇田川潤、橋本龍樹、二村正之、八田稔久、米田達明、岸 浩史、滋野和志、  
椎名浩昭、大谷 浩、井川幹夫  
マウス尿管の形成過程における細胞動態の解析。  
第94回日本泌尿器科学会、福岡市、2006年4月12日～15日

大谷 浩、籠橋有紀子、直良博之、名和田清子、森山賢治、帯刀礼子  
必須脂肪酸摂取比率が1型糖尿病のハネムーン期に与える影響。  
第49回日本糖尿病学会、東京、2006年5月25日～27日

籠橋有紀子、直良博之、阿比留教生、古林正和、宇田川 潤、橋本道男、大谷 浩  
母体を介した必須脂肪酸摂取比率が1型糖尿病発症に与える影響。  
第49回日本糖尿病学会、東京、2006年5月25日～27日

籠橋有紀子、直良博之、森山賢治、大谷 浩  
1型糖尿病のハネムーン期を修飾する必須脂肪酸摂取比率について。  
第48回日本脂質生化学会、東京、2006年6月8日～9日

八田稔久、二村正之、大谷 浩  
胎児脳脊髄液における Leukemia inhibitory factor および可溶性レセプターの発現解析。  
第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

橋本龍樹、Milan Jamrich、松本暁洋、河本 舞、大谷 浩  
dyl/dyl マウスの小眼球症をアデノウイルスによる一過性遺伝子導入により治療する  
試み。  
第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

宇田川潤、内藤寛太、安田 晃、佐藤文夫、大谷 浩  
ヒト胎児組織形成期における多次元発生スタンダード作成の試み。  
第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

松本暁洋、八田稔久、大谷 浩  
マウスの胎生期における顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子の発現分布と作用  
の検討。  
第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

籠橋有紀子、直良博之、帯刀礼子、大谷 浩  
胎児期・乳児期の食餌環境と1型糖尿病の発症について。  
第46回日本先天異常学会、山形市、2006年6月29日～30日

梅原 毅、宇田川 潤、木村 光宏、高村 薫、石光 亮太郎、清野 宏、大谷 浩  
マウス嗅神経の発生における IL15 及び IL15 受容体 (IL15R $\alpha$ ) 発現の検討。  
第45回鼻科学総会・学術講演会、四日市市、2006年9月21日～23日

二村正之、宇田川潤、八田稔久、橋本龍樹、大谷 浩

副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) の胎生期マウスにおける組織・器官への影響.  
第 77 回日本動物学会大会、松江市、2006 年 9 月 21 日～24 日

籠橋有紀子、帯刀礼子、武部恵美、直良博之、阿比留教生、古林正和、橋本道男、  
紫藤 治、大谷 浩

離乳前の必須脂肪酸摂取比率が NOD マウスの糖尿病発症に及ぼす影響について.  
第 77 回日本動物学会大会、松江市、2006 年 9 月 21 日～24 日

二村正之、宇田川 潤、八田稔久、橋本龍樹、大谷 浩

マウス胚への副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)分泌性細胞 AtT20 の移植による後腎および生殖巣への効果.

第 61 回日本解剖学会中国・四国地方会、広島市、2006 年 11 月 11 日～12 日

籠橋有紀子、鎌田ルミ子、帯刀礼子、橋本道男、紫藤 治、阿比留教生、森山賢治、大谷 浩

自己免疫疾患である 1 型糖尿病発症に及ぼす必須脂肪酸摂取比率の影響  
日本分子生物学会 2006 フォーラム、名古屋市、2006 年 12 月 6 日～8 日

## 2005 年

大谷 浩

組織形成期における神経免疫内分泌ネットワーク形成機構の解析：胎生期における ACTH の新たな役割を探る. (特別講演)

第 16 回 CRH・ACTH 研究会、大阪市、2005 年 3 月 26 日

大谷 浩

胎生期における臓器の発生と生活習慣病の素因形成. (招待講演)

第 440 回鳥取東部医師会臨床懇話会、鳥取市、2005 年 10 月 21 日

宇田川 潤、八田稔久、橋本龍樹、大谷 浩

胎生期中枢神経系の発生におけるレプチンおよび IL-6 関連サイトカインの役割.  
(シンポジウム)

第 60 回日本解剖学会中国・四国地方会、徳島市、2005 年 10 月 29 日～30 日

籠橋有紀子、宇田川潤、古林正和、森山賢治、阿比留教生、大谷 浩

母体環境の相違による NOD マウスの病態変化.

第 19 回日本糖尿病動物研究会年次学術集会、京都市、2005 年 2 月 4 日～5 日

二村正之、宇田川潤、八田稔久、橋本龍樹、大谷 浩

ACTH 分泌性株細胞 AtT20 のマウス胚への移植とその末梢組織への影響.

第 110 回日本解剖学会総会、富山市、2005 年 3 月 29 日～31 日

Habib H、八田稔久、宇田川潤、張 立群、吉村安郎、大谷 浩

胎児の顎運動の制限が下顎骨頭軟骨の発生に及ぼす影響.

第 110 回日本解剖学会総会、富山市、2005 年 3 月 29 日～31 日

山岸主門、亀井 勉、籠橋有紀子、山本大介、大谷 浩、小浦誠吾

数種農作業が参加者の生理・心理反応に及ぼす影響.

2005 年人間・植物関係学会鶴岡大会、山形市、2005 年 6 月 4 日～5 日

籠橋有紀子、宇田川 潤、阿比留教生、古林正和、帯刀礼子、森山賢治、大谷 浩

1 型糖尿病発症過程への母体環境の影響について.

第 78 回日本内分泌学会総会、東京都、2005 年 7 月 1 日～3 日

八田稔久、二村正之、大谷 浩

胎生期における leukemia inhibitory factor の発現解析.

第 45 回日本先天異常学会、東京都、2005 年 7 月 14 日～16 日

橋本龍樹、Jamrich M、松本暁洋、大谷 浩

アデノウイルスによる一過性遺伝子導入による先天性小眼球症の治療の試み.

第 45 回日本先天異常学会、東京都、2005 年 7 月 14 日～16 日

宇田川潤、橋本龍樹、佐藤文夫、日置恭司、大谷 浩  
マウス胎児の大脳皮質発生におけるレプチンの機能.  
第 45 回日本先天異常学会、東京都、2005 年 7 月 14 日～16 日

直良博之、松本 恵、籠橋有紀子、大谷 浩  
カワラタケ抽出物が奇形発生を抑制するメカニズム.  
第 45 回日本先天異常学会、東京都、2005 年 7 月 14 日～16 日

籠橋有紀子、宇田川 潤、橋本龍樹、森山賢治、大谷 浩  
自己免疫性膵島炎の発症と母体環境の変化による内因性レトロウイルスの活性化.  
第 45 回日本先天異常学会、東京都、2005 年 7 月 14 日～16 日

河本 舞  
ラットの行動および自律神経機能に対するフィトンチッド（森林の香り）の作用.  
第 44 回日本生気象学会大会、出雲市、2005 年 10 月 21 日～22 日

河本 舞、川上浩平、三原安経、八田稔久、野村正人、大谷 浩  
植物の二次代謝成分フィトンチッドがラットの自律神経系等の生理機能に及ぼす影響(2).  
第 60 回日本解剖学会中国・四国地方会、徳島市、2005 年 10 月 29 日～30 日

大谷 浩、籠橋有紀子、直良博之、名和田清子、田川麻美、帯刀礼子  
食餌中の必須脂肪酸が 1 型糖尿病のハネムーン期に与える影響.  
第 38 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、松江市、2005 年 11 月 12 日～13 日

籠橋有紀子、沖本麻里、藤井由巳、直良博之、橋本道男、紫藤 治、大谷 浩  
胎児期・新生児期に摂取する食餌中の必須脂肪酸が 1 型糖尿病に与える影響.  
第 38 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会、松江市、2005 年 11 月 12 日～13 日

内藤貫太、宇田川 潤、大谷 浩  
ヒト胎児形態計測データの様相.  
科学研究費シンポジウム「統計数理の基礎理論」（鹿児島大学理学部）、鹿児島市、  
2005 年 12 月 19 日～21 日